

ヒール耐疲労性試験

ISO 19956 : 2004に準拠

【概要】

『ISO 19956:2004』に規定されるヒール耐疲労試験機で、歩行時にヒールが繰り返し受ける衝撃に対する耐久性を調べる試験です。

【試験方法】

合金で固定したヒールを試験機に取り付け、1秒間に1回の速度で一打当たり0.68 Jの衝撃を与えます。0.68 Jという値は、当該試験が英国で開発されたことが関係しており、1 lbf(ポンド) × 0.5 ft(フィート) を国際単位に換算すると $4.45 \text{ N/lbf} \times 0.5 \text{ ft} \times 0.305 \text{ m/ft} = 0.68 \text{ J}$ となるため、1打撃が0.68 Jと設定されています。また0.68 Jの衝撃を誤って指や手の甲に受けてしまうと骨折する危険性があり、想定される歩行時の負荷より1回に与える衝撃が高く設定されています。

【評価】

衝撃を与える回数は20000回で、衝撃を繰り返し与えることで外観の変化が現れた回数で評価とします。

【費用】

試料数はヒール単体3個で試験を実施し、試験費用は12,000円です。ただし、ヒール単体で試料を提供できない場合は、別途費用が発生します。



ヒール耐疲労試験機(SATRA社)



CERI

一般財団法人

化学物質評価研究機構

Chemicals Evaluation and Research Institute, Japan

大阪事業所 技術第三課

〒577-0011 大阪府東大阪市荒本北1-5-55

TEL:06(6744)2022 FAX:06(6744)2052

URL <https://www.cerij.or.jp>